浅生詠
イラスト／はましま薫夫
ぷちぱら文庫
CLOCK UP
euphoria
ユーフォリア

たとえば……懐柔。と言ってもいきなり媚びへつらえば、疑われるのは必至だ。だから、合歓に対する反応を徐々に変えていく。あの女の甘言に乗った振りをしながら、このゲームをクリアする。もちろん叶は守り通す。

できるだろうか？　いや、『できるだろうか？』じゃない。やるしかないんだ。

「恵ちゃん？」

顔をあげる。叶が俺を心配げに見下ろしていた。

「大丈夫？　なんだか……浮かない顔してる」

「いや、平気だ。何でもない」

それだけ答えると、すぐに俺は立ちあがり、叶から離れた。素っ気ない俺の態度に、叶はきっと傷ついた顔をしているだろう。

ごめん、ごめんな叶。でも俺は決めたんだ。今の俺の傍に、お前を置くのは危険だから。だから、この白い部屋にいる間、俺はお前に近づかない。

優しい叶。本当なら少しも傷つけたくない。でも、何もかもを思い通りにはできない。

だから、俺は……叶、お前を少しだけ傷つける。

合歓とのキスの言い訳も――しない。

カウントダウンがゼロに近づく。

またはじまるのだ。

《【開錠者】は十歩前に進み、振り返ってください》

命じられた通りに前に出る。振り返り、一列に並んだ他のみんなを見る。

《ターン二。設定フェイズ》

《全てのプレイヤーは沈黙を保ちます》

《【鍵穴】を設定してください。30、29、28、27……》

カウントダウンがはじまる。モニタに表示されたデジタル数字が数を減らしていく。

前回のターンの疲労と昂奮が、まだ体内で燻っている。

合歓の『お願い』を思い出す。

――二回目の開錠ゲーム……次も私を選んで欲しいの。

（俺は……）

俺はこのゲームの残酷なルールから……何よりも【開錠者】である俺自身から叶を守る為に、合歓の注意を俺に引きつける。二度と合歓に、叶を選べと言わせない為に。

合歓に逆らいながら、抵抗しながら、揺れながら、惹かれながら、もがき苦しむ。

さあ選べ。二回目の相手を。二回目の鍵穴を。俺は、全員の顔を今一度眺め渡す。

「白夜凛音」

「……」

白夜さんは俺の呼びかけに何の反応も示さなかった。

《鍵穴設定：白夜凛音》

《【開錠者】と【鍵穴】は、メインルームから該当の部屋に移動してください》
「行きましょう」
先に白夜さんが歩きはじめた。俺もすぐにその後を追い、迷いのない足取りに追いつく。
カウントダウンの響く中、ほとんど並ぶようにして、個室のドアをくぐり抜けた。

白夜さんを選んだ理由は、単純なものだ。叶は選ばない。合歓も選ばない。そうなれば残りは、白夜さんと、先生と、蒔羽の三択だった。叶の顔をなるべく見たくなくて、叶から一番離れている相手を見た。それが白夜さんだった。ただそれだけのことだった。
隣に立つ白夜さんの横顔は、相変わらず読めない。
暗転し、箱が出現する。箱の中には、想像した通りの物が入っていた。それでも、流石に息を飲んだ。正面の壁に赤い文字で開錠条件がくっきりと浮かびあがっている。
《【開錠者】と【鍵穴】の状況は常時モニタリングされます。開錠条件を遵守してください》
一度目と同じだ。演技では済まされない。ここから脱出する為には、この箱の中身を使い、白夜さんを犯すしかない。
……ためらうな。手酷い方法で、なんの良心の呵責もなく、俺が心の深い場所で望んでいた通りに、行動しろ。俺にはそれが出来る。そして、そうしなければ、俺たちは皆死ぬんだ。覚悟を決め、白夜さんを見る。

「……」
白夜さんは、静かな表情で俺を見返した。視線をそらさない。恐怖もない。不安もない。
……心がざわめいた。
もっと怖がってもいいんじゃないか？　これからお前は、犯されるんだぞ。ほとんど初対面の男に。凪いだ湖面のような白夜さんの顔を、恐怖と痛みに歪ませたい。
だってずっと望んでいた。
誰かを犯したいと、誰かを壊したいと。このゲームで強制されたからじゃない。俺は、あくまで自分の意志で犯すのだ。些細な拘りだとしても、譲れない一線だ。
そうだ。俺は間違いなく、白夜さんを犯したい。いや、犯すのだ。妄想でしかなかった願望を今こそ、実現するのだ。
箱の中身を手に取る。何も言わず、白夜さんへと飛びかかった。

勢いよく突き飛ばすと、白夜さんの細い体はあっけなく床に倒れた。音を立ててストッキングを破ると、黒ストの間から下着を横にずらして陰部を剥き出しにする。口には猿轡をかける。制服の上から簡単にはほどけないよう、荒縄で縛りあげた。猿轡も、荒縄もすべて箱の中に入っていた道具だ。開錠条件を反芻する。
鍵穴：膣。射精回数：一回。備考：ハード

ハードか。酷い目に合わせろってことだろ？　いいさ、やってやる。これだけされても畏れも、怯えもない白夜さんの……いや、この女の顔を苦痛で歪めてやる。

街中で攫った女を、路地裏で無言で犯すように、容赦なく犯してやる。ずっと……そうずっと妄想していたシチュエーションだ。

ズッズブブブブブブッ!!　ビチッビチチチチッ!!

「ううぅぅん……!!」

一切の容赦も呵責もなく罪悪感すらなく、白夜さんの膣穴に怒張しきったチンポをねじ込み、根本まで深々と突き込む。途中、狭い膣穴の入口付近で侵入を阻む処女膜を、何の躊躇いもなく一気にぶち抜く。薄い処女膜の儚い抵抗は、チンポの猛烈な暴力挿入にあまりにもあっさりと裂断する。

壮絶な処女膜破壊に、チンポと膣穴の隙間の殆ど無い結合部から真っ赤な破瓜の血が溢れる。あまりに凶悪な処女喪失挿入に、華奢な白夜さんの体が折れんばかりに反り返る。

ズッズブブッ……!!　ビッビチビチッ!!ギチッ!!　ズブブブウッ!!

音を立てて引きちぎられた処女膜を亀頭に絡みつかせて、チンポが根本まで白夜さんの狭い膣穴の、その奥の奥までみっちりと埋没する。華奢な白夜さんの体に相応しい狭い膣穴に、グロテスクな肉槍がずっぽりとめり込んでいる。破瓜の痛みと内側から強引にめり広げられる激しい圧迫痛に、チンポを咥え込まされたままの膣壁がミチミチと悲鳴をあげている。

「うぅぅ……ふっふぅぅ……うぅんっ……ふ、ふっ……ふぅぅ……うぅぅ……ッ」
……なのに、白夜さんの唇からは最低限の苦悶の声しかあがらない。痛そうに顔を歪めているが、激しい苦痛や処女喪失の苦悶はほとんど現れない。まるで転倒して足をくじいた程度の……その程度の痛みの発露しかない。それが俺をムカつかせる。腹が立つ。
何で泣かないんだ。お前の大切な処女が奪われたんだぞ？　好きでも何でもない初対面に近い男に、レイプ同然に犯されて破瓜したんだぞ？　もっと苦しんでみせろよ。もっと痛がって泣いてみせろよ……！
ズブッズブッ!!　グチュッズブウウッ!!　ズブッズブブッ!!　ズブチュッ！
「んふっ……！　んぅぅぅう……んぐぅっ……んっ……ふっふぅっふぅう……！」
嗜虐衝動の赴くままに、骨盤を打ち壊す勢いで肉杭チンポを荒々しく白夜さんの膣奥に叩き込む。繰り返し、何度も、何度も何度も何度も何度も。
引き抜いては、ねじ込み、強引に引き抜いては、また撃ち込む。膣奥に見つけた肉の輪……子宮口を、乱暴にゴツゴツと穿ち込む。ほっそりとした白夜さんの体は臀部ですら肉がほとんどなくて、直接腰骨や恥骨がガンガン当たる。白夜さんの骨を打ち叩いているみたいだ。
「ふっふぐ……んうっん……くふぅんっぅう……んぐうっ……!!」
猛り勃つ剛直チンポを破瓜したばかりの膣穴にブチ込むと、白夜さんからくぐもった声が漏れる。抑え気味の呻き声であることにかわりはないが、さっきよりもずっと苦しそう

だ。破瓜したばかりの傷ついた膣穴を穴よりも明らかに太いチンポに擦り犯される白夜さんの、苦痛の色が濃くなった表情に、異常な興奮と喜悦を覚える。
唇を噛んで、こみあげてくる嗤いを押し殺し、ドス黒い感情に彩られた笑みを隠すために俯く。ああ、いいな。すごくいい。すごく悦しい。すごく気持ちいい。なによりも女の苦痛の表情が。破瓜の血にまみれたチンポが。
俺が傷つけた。俺が犯したんだ――!!
ズブッ！　ズブウッ!!　ズチュッ!!　ズブブッ!!　グボッ！　ズボズボッ！
「んっ！　ふっぅぅうっ！　くふっ！　んぅぅうっ!!　んぅぅうっ！　うっぅぅう！」
射精の欲動にまかせて腰を振るい、処女喪失したばかりの膣穴を思いきり蹂躙する。狭い膣穴は、射精直前のチンポの膨脹にますますメリメリと音を立てて拡張される。膣壁はまだ生硬で、チンポを押し出すようにざわめく。生理的な拒絶の膣内収縮が、皮肉にも肉棒への快楽に奉仕する。
たまらない。たまらない。これが白夜さんのマンコなんだ。今、俺は白夜さんを、同級生のマンコを犯しているんだ……!!　こみあげる射精欲に挿送が加速していく。
グチュッ!!　ズブウッ！　ズチュッ!!　グチュッ！　ズブズブウッ!!
「ふぐっ……んんぐうっ！　ふぐっ！　んぅぅうっ！　うぅっぅぅうっぅんっ！」
射精直前のひと回り膨らんだチンポで、処女膜の傷も癒えない白夜さんのマンコを掘り抜いていく。相手を一欠片も思いやらない身勝手で激しい挿送に、破瓜の血が結合部から

ぷちぱら文庫

euphoria（ユーフォリア） ~another room~

2011年　10月28日　初版第１刷 発行

■著　　者　　浅生詠
■イラスト　　はましま薫夫
■原　　作　　CLOCKUP

発行人：久保田裕
発行元：株式会社パラダイム
〒166-0011
東京都杉並区梅里2-40-19
ワールドビル202
TEL 03-5306-6921

印 刷 所：中央精版印刷株式会社

本書の内容を無断で複製・複写・放送・データ配信などをすることは、
かたくお断りいたします。
落丁・乱丁はお取り替えいたします。
定価はカバーに表示してあります。
©EI ASOU ©2011 HOBIBOX / CLOCKUP All rights reserved.
Printed in Japan 2011　PP027

この衝動……
抑えられない……!
オリジナルアニメーションビデオが
この冬登場!
真中合歓 地獄始動編
2011.12.22 発売予定!
発売元:
魔人
http://www.a1c.jp
販売元:株式会社エイ・ワン・シー
〒177-0032 東京都練馬区谷原1-2-3-4F
TEL:03-3995-1450/FAX:03-5393-7809
カラー30分/ステレオ音声/片面一層/16:9/18歳未満視聴禁止対象商品
初回限定版DVD:品番AGJDL0801 JAN4562215332216 ¥7,140(税込)
© 2011 HOBBOX/CLOCKUP/魔人

ぷちぱら文庫は
ライター&イラストレーターを募集中です!

「ぷちぱら文庫」シリーズを盛り上げる、新たな作家を募集いたします。「ぷちぱら文庫」は、ゲームノベライズだけでなく、オリジナル創作による美少女小説も刊行予定です。
応募規定は、それぞれ以下のようになります。
皆様のご応募をお待ちしております！

1. 募集内容

「ぷちぱら文庫」シリーズでは、美少女ゲームやライトノベルを好む読者層へ向けた作品作りを目指しています。ご応募いただく場合も、ヒロインの個性や魅力が伝わるようなもの、シチュエーションへのこだわりが感じられるものなど、はっきりしたテーマのある作品でお願いいたします。題材はとくに限定していません。発表済か、未発表作品かも問いません。

2. 送付方法

小説の場合は、テキストデータをメールでご応募ください。コミックやイラストは、原稿用紙をお送りいただいても、データをお送りいただいても結構です。データが５ＭＢ以上の場合は、ファイル転送サービスなどをご利用ください。コミックには枚数の規定はありません。小説は１ページを17行×40文字として、50ページ以上の作品をお送りください。

3. 選考結果などについて

メールでご応募いただいた場合は、着信のご連絡は必ず行っています。選考は随時行っており、締め切りはとくにございません。選考終了後、採用の方にのみ別途お返事をしております。通常はお返事までに、２週間～1か月ほどお時間がかかります。

4. 作品の送付先

ご郵送の場合は下記住所までお送りください。メールでのご応募は以下のアドレスで受け付けております。どちらの場合も必ず「お名前、年齢、ご職業、ご住所、電話番号」を書いた紙を同封するか、明記してください。
メールの宛先: desk@parabook.co.jp

〒166-0011　東京都杉並区梅里2-40-19　ワールドビル202
株式会社パラダイム 「ぷちぱら文庫作品応募」係

※ご応募の際の個人情報は、選考結果のご連絡にのみ使用いたします。
作品のご返却を希望の場合は、宛名を書いた返信用封筒と切手を同封してください。